

公表:令和 5年 3月 31日

事業所名 シーランチ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	○				
	② 職員の配置数は適切であるか	○			加配の職員も配置して います。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された 環境になっているか。また、障がいの特性に応 じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報 伝達等への配慮が適切になされているか	○				
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっているか。また、子ども達の活動に合わせた 空間となっているか	○			毎日、朝と給食後に掃除 と消毒を行っています。	
業務改 善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			週1回クラス会議を開 いています	クラス会議の中で、職員同士意 見を出し合いながらよりよい療 育を作りあげていくように務め ていきます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対し て事業所の評価を実施するとともに、保護者等の 意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表 の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うと ともに、その結果による支援の質の評価及び改 善の内容を、事業所の会報やホームページ等で 公開しているか	○				
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか	○				
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	○			階層別、年代別研修を 法人内で行っています。	研修で学んだことを療育に 還元できるように専門性を 高めていきます。
適切 な支 援の 提 供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、児童 発達支援計画を作成しているか	○				面談などを通して、保護者 やお子さんの困り感を汲み 取り、支援につなげられる ように支援計画を作成して いきます。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを 使用しています。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラ インの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発 達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支 援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの 支援に必要な項目が適切に選択され、その上 で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている か	○				
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			同年齢の事業所とも連 携して季節や気候に合 わせた活動を立案してい ます。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	○			朝の会やリズムに加え、 季節や天候に合わせた 活動を取り入れていま す。	

	⑩	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑪	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			療育開始前に、情報共有をより密に行い、更に安心できる療育ができるよう努めていきます。	
	⑫	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員でその日の振り返りを行い、課題を次の日からどうするかまで明確にして療育につなげていきます。	
	⑬	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑭	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度保護者と面談をしてモニタリングをしています。	モニタリングをした結果を支援計画に反映していきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑮	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	⑯	母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関や関係機関と連携した支援を行っているか	○			相談室や保健センターと連携して支援を行っています。	
	⑰	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/				
	⑱	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/				
	⑲	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	/				
	⑳	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			就学に向けて引継ぎを就学先の学校に行っています。	
	㉑	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	㉒	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			外部との交流はありませんでしたが、法人内の年長同士の交流は行いました。	
	㉓	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			法人内の担当職員が対応しています。	
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			電話連絡や、事業所内相談支援で保護者と情報を共有しています。	保護者とお話した内容から、必要な支援・関係機関に繋げていきます。
	㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○				
	㉖	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	㉗	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				

保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		電話連絡や、事業所内相談支援で保護者と情報を共有しています。	保護者のニーズに合わせて支援・関係機関に繋げていきます。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		書類は鍵のついた書庫に保管しています。	
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月様々な災害を想定して避難訓練を実施しています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		保護者とどんな時に体調が悪くなりやすいか、その日の体調の共有を行い、体調の悪い時にはこまめに保護者と連絡を取り合いました。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○		給食室と連携して、アレルギー対応を行いました。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。